



## Be creative !

# 君も人生の Player に

## NPO Japan Heart 最高顧問 吉岡秀人さん

先日、zoomを通しての研修ではありますが、NPO 法人 Japan Heart 最高顧問の吉岡秀人さんのお話を聴く機会に恵まれました。皆さんにもその内容を簡単ですが、紹介したいと思います。

### 医者果たす役割とは何か ミャンマーを中心に医療を無償で提供し、多くの子どもの命を救

うことに人生をかけてきた吉岡さん。「Japan Heart」という NPO 法人を立ち上げ、医療を提供するだけでなく、病気で親を亡くした子どもたちのために孤児院を設立する仕事もしてきました。その彼の活動の詳細は割愛しますが、吉岡さんは過酷な人生を歩んできました。その過酷な状況の中になぜ自分の身を置くのか。吉岡さんは迷わず「自分の幸せとそれが直結をしているからだ。」と答えます。「目先の損得にこだわらず、自分のやりたいことに突き進む。」「誰も損をせず、自分が求められているのであれば、迷わず実行する。」彼はミャンマーで外科医として働く中で、「医者果たす役割とは何か」ということに気づきます。それは「病気を治す」ことだけではなく、「その人の治療後の人生を豊かにすること」。がんの腫瘍を抱えた子どもの治療を行った時のこと。その子の腫瘍は大きく膨らみ、これを取り除いたとしても余命は1年ぐらいだとわかっていた。でも手術は行う。なぜならば、ひょっとしたら1回は学校に行けるかもしれない、マーケットに買い物ぐらいなら行けるかもしれない。その経験はこの子の人生に光をもたらす。この子の家族にもそれはうれしい記憶として残るはずだ。病気は治せなくても心は救える。この子の人生に小さな花を咲かせることができる。これが彼のたどり着いた結論でした。

### 君たちの人生を豊かにするために この研修を受けた後、私は彼に関心を持ち、彼が若い人

に講演を行っているビデオを観てみました。彼は若い世代の人達に向かって「人としての基礎体力を今こそつけてほしい。」と呼びかけていました。人生はやがて熟成・発酵し、虫メガネが太陽の光を一点に集めて紙を燃やすように、自分自身のやりたいことにぐっと向かっていける時が来る。しかし、人生の傍観者にはその時はやってこない。人生の Player になってほしいんだと彼は語りかけます。そのために基礎体力を養ってほしいんだ。では、どうやったら、人としての基礎体力を身につけることができるのか。それは、例えば、嫌いな仕事をやってみる、反りの合わない人とチームを組んで何かに取り組んでみることだと彼は言います。単に自分のやりたいことややりやすいことだけに取り組むのではなく、自分に少し負荷がかかる、ストレスをもたらすことに取り組んでみる。そうすることで、自分自身の中に柔軟性や寛容性が育まれ、思わぬところで人間としての幅を広げることに役立つことがある。これが自分の将来に何の役に立つかわからない場合でも、まずは自分の目の前に広がっている世界に大いに関心を持ち、関わってみる。「人生の豊かさ」とは何か。「いいことも悪いこともその両方の経験をたくさんすることではないのか。」と彼は言います。いいことも悪いことも引き受け、自分自身の中で消化していくことにより、人間の厚みは育っていくと考えます。そのためにも、「君も自分自身の人生の Player になろう」。傍観者になれば時間だけが零れ落ちていき、もう取り戻すことはできない。彼は言います。「スポーツで考えてみよう。例えば、ラグビーの試合を観て、もちろん観客としても感動することはできる。だけど、悔しさも含め、一番大きな感動を手にするのはほかでもない、選手そのものだ。」—人生の Player に。

参加者の皆さん、ご協力に感謝申し上げます。

## 愛知教育大学訪問—PTA研修旅行

報告 教頭 今田和弘



6月29日(火) コロナ禍でありましたが、感染対策をとりながら2年ぶりにPTAバス研修を実施しました。参加者は保護者14名、教員5名の計19名でした。梅雨の時期ではありましたが、研修当日は汗ばむほどの晴天に恵まれ、刈谷市にある愛知教育大学に向かいました。

愛知教育大学では、学長の野田敦敬先生から歓迎の挨拶を頂き、大学の学びの特色やコースについて説明を受けました。現在、愛知教育大学では学校教員養成課程と教育支援専門職課程の分けられており、時代の要請に応じたカリキュラムが編成されていることも紹介されました。以前に比べると受験者は減少しており、付属高校からも積極的に受験をして欲しいとのことでした。



大学図書館の入り口には、原爆によって被爆した旧広島市役所の敷石が展示されていました。ご存じでしょうか。この敷石は、本校にモニュメントとして展示されているものと同じものです。愛知県にこの敷石は愛知教育大学と本校にしかありません。その後、大学の広いキャンパス内を自由に散策し、ゆったりとキャンパス気分を感じました。



岡崎での昼食交流を終えて、午後からは、岩津天神を訪問しました。コロナ禍で外出する機会が少なくなっている中、参加者一同、中身の濃い充実した時間を過ごすことができました。来年はコロナも収束し、大勢でバス研修が実施されることを願っています。

### 🌸 今月の言葉 🌸

2年生グローバル英語コースの生徒たちが交流している台湾台北市の鼓山高級中学校 Vic 先生からお便りが届きました。11月にふたたび交流の場をオンラインで持ちます。12月には\*ASEPが待っています。

Dear Principal Ms.Yamaguchi Kikue,

How are you doing? We are so glad to hear from you.

It's our greatest pleasure to see everyone's angelic smile. Hope you like the little gifts we prepared. Without a doubt, we had a great time as a team in WYM this year. Students really learned a lot from the experience working with your lovely students.

I find it tremendously rewarding to be a part of our mutual international collaboration events during this year.

We really appreciated your information and thanks again for inviting us to join the global meeting this coming Nov.

Looking forward to it. Keep in touch!

Best regards, Vic



\*ASEP Asian Students Exchange Program 台湾で実施されてきましたが、現在はオンラインで実施